

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

群馬県

行 事 名 称	第64回文化財防火デー 文化財模擬火災訓練
実施期間・日時	平成30年1月21日（日）9：00～9：45
実 施 場 所	重要文化財 雷電神社八幡宮稲荷神社境内（邑楽郡板倉町大字板倉）
主 催 者	板倉町・板倉町教育委員会・板倉消防署・板倉消防団・雷電神社

■実施内容

訓練の想定

県指定重要文化財雷電神社本社より出火、出火当時乾燥注意報が発令されており、強い季節風により火勢は猛威をふるい、国指定重要文化財末社および県指定重要文化財奥宮、さらには付近の住宅へ延焼、拡大しつつある。

訓練の内容

災害対策本部：（神社境内）本部長は町長

①雷電神社本社と奥宮の間で出火 ②神社職員が通報 ③氏子総代が初期消火（消火器による消火・放水銃で放水） ④消防署消防車（2台）・分団消防車（5台）が到着、放水開始 ⑤負傷者応急手当、救急車搬送 ⑥講評 ⑦氏子・近隣住民・女性防火クラブによる初期消火訓練

参加者及び役割分担

雷電神社職員（2名）：119番通報、初期消火、初期消火訓練

雷電神社氏子総代・地域住民（8名）：初期消火、初期消火訓練

板倉消防団（79名）：放水訓練、交通整理

板倉消防署（21名）：全体総括、放水訓練

板倉町等（4名）：講評等

板倉町教育委員会（5名）：現場立会い

その他（43名）：現場立会い

特に工夫した点

神社側に、定期的に自家発電及び放水銃の稼働確認をするよう、消防の指示に基づき、指導。

問題点・課題

日頃より、地元住民が、消火設備を熟知し、神社との連携が図られている。

他の文化財に関する訓練も今後は実施し、町内全域の文化財を防火等より保護する対策を考えて行きたい。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要である。雷電神社での防火訓練は、消防署の細やかな指導によって実施でき、文化財の保護啓蒙に大いに貢献できたと思う。また、地域住民が、初期消火や消火栓の位置の確認などができ、緊急時の対応がスムーズに行えたとともに、文化財の保護及び文化財の重要性の再認識につながると思う。

訓練風景

別紙のとおり

H30.1.21（日）板倉町文化財模擬火災訓練状況写真



出火状況



氏子による火災周知状況



氏子による初期消火（放水銃）状況



放水状況



放水状況



負傷者の救助状況



訓練後の講評状況



初期消火訓練状況